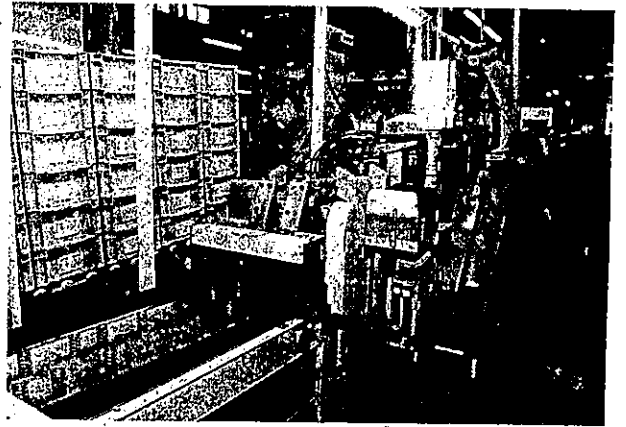


18年度グッドカンパニー大賞 村田発條が優秀企業賞



バルブスプリングを製造する清原工場＝5日午後、宇都宮市

公益社団法人中小企業研究センター（東京都）は5

日、2018年度「グッドカンパニー大賞」の優秀企業賞（関東地区）に、村田発條（宇都宮市平出工業団地、高橋純夫社長）を選んだと発表した。

同賞は経営、技術開発などに優れた成果を上げている中小企業を顕彰している。今回で52回目。本県では6社目の受賞。優秀企業賞は最高賞のグランプリに

次ぐ。

同社は主に自動車用金属ばねを開発製造する老舗の独立系メーカー。国内生産の普通トラック、バス（4ト以上）のエンジン用バルブスプリングをほぼ100%供給し、自動車変速機用ダンパースプリングでも世界シェア約15%を占めるなど約4千種のばねを、年間約4億2千万個製造する。18年12月期の売上高は96億円超の見込み。

従業員の半数以上180人が金属ばね製造技能士の国家資格を有し、高い技術開発力と高品質は国内外のサプライヤーから信頼を得

ている。県地域中核企業として周辺約70社との分業体制を強化し、地域未来牽引企業にも認定されている。

高橋社長は「受賞は従業員の励みになり、モチベーションも高まる。さらなる飛躍につなげていきたい」と話した。（伊藤一之）